

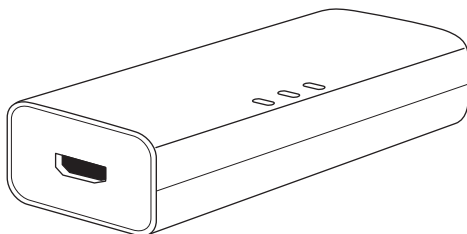
ELECOM

Broadband Router

ホテル用モバイル無線LANルータ

WRH-150xシリーズ

詳細説明書



このマニュアルは、付属の「設定手順書①」「設定手順書②」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	ホテル用モバイル無線 LAN ルータ「WRH-150x」を「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線 LAN ブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線 LAN 機能を内蔵した機器、無線アダプタを取り付けた機器、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- iPad、iPod touch は、Apple Inc. の商標です。
- Android、Android ロゴは Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。
お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。
これらのソースコードは有用と思われるますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。
詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。
- そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきました。

ホテル用モバイル無線 LAN ルータ

WRH-150x シリーズ

詳細説明書

はじめに

この度は、エレコムのホテル用モバイル無線 LAN ルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みにになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

安全にお使いいただくために

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用の前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何か禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警 告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電、火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

注 意



通気孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用することこれらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 概要編 9

1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
3 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
本製品の動作環境	13
4 各部の名称とはたらき	14
5 設定ユーティリティについて	15
6 セットアップを始める前に	16
接続事業者との契約状況を確認する	16
ブロードバンドモデムのタイプについて	17
設定に必要なプロバイダ情報を用意する	17

Chapter 2 導入編 19

1 セットアップの流れ	20
ホテルで使用する場合	20
ご自宅で使用する場合	21
2 セットアップを始める前に	22
3 インターネット接続のための設定	29
インターネット接続のタイプについて	29
設定ユーティリティを表示する	31
4 無線 LAN で接続する	33
はじめにご確認ください	33
WPS ボタンを使って接続する	34
PIN コードを入力して接続する	36
手動設定で接続する	38
iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する	40
Android スマートフォン / タブレットを接続する	43

Chapter 3 詳細設定編 47

1 設定ユーティリティ画面について	48
設定ユーティリティ画面を表示する	48
設定ユーティリティ画面の内容	49
2 動作モード選択	50
3 無線設定	51
基本設定	51
詳細設定画面	53
アクセスコントロール画面	54
WPS 機能の設定	56

4 セキュリティを設定する (無線の暗号化)	57
WEP の設定	58
WPA-PSK/WPA2-PSK の設定	61
5 インターネット設定	64
LAN 設定画面	64
固定 DHCP 設定画面	66
WAN 設定画面	68
6 システム設定	73
ステータス画面	73
ファームウェア更新画面	75
設定保存と復元画面	76
パスワード設定画面	78

Appendix 付録編 79

1 有線 LAN アダプタドライバのアンインストール	80
2 こんなときは	85
3 パソコンの IP アドレスの確認方法	88
パソコンの IP アドレスを表示する	88
工場出荷時での表示結果	91
4 主な仕様と工場出荷時の設定	92
5 索引	93

Chapter 1

.....

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品の保証規定については、付属の「取扱説明書②」をご覧ください。

お買い上げ時のレシートもしくは保証シールを、「取扱説明書②」の該当欄に貼り付けて保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については本製品のパッケージに記載されている保証規定をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品のパッケージに記載されている保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

[P11「2 サポートサービスについて」](#)をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコムネットワークサポート（ナビダイヤル）

TEL：0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00 ～ 19:00

（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

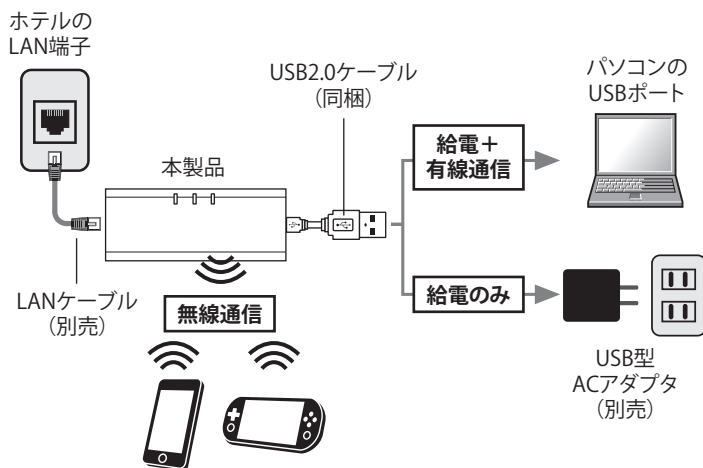
※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

- ホテルの客室にある LAN 端子に接続することで、手軽に Wi-Fi を使うことができる無線 LAN ルーターです。
- USB 給電に対応しており、その場の環境に合わせ電源をお選びいただくことができます。
- 本製品をパソコンの USB ポートに接続した場合、有線 LAN アダプタとして通信を行うこともできます。[※]

※ Windows 8/7/Vista/XP (SP3 以降)、Mac 10.6 ~ 10.8 のみ



- 無線親機に接続するための簡単設定アプリ「QR link」(無料)をご用意

無線親機に接続するための専用設定アプリ「QR link」をご用意 (AppStore (iOS) または GooglePlay (Android) ダウンロードする必要があります)。

専用アプリを使用することで、簡単にスマートフォンやタブレットと Wi-Fi 接続することができます。

※ iOS 端末は、iOS4.0 以降かつカメラ付きモデルに対応。Android 端末は、Ver.2.1 以降かつカメラ付きモデルに対応。(オートフォーカス機能のあるカメラ搭載端末を推奨します。)

●ボタンひとつで設定完了、WPS 機能に対応した無線 LAN 設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線 LAN 接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品側面の WPS/Reset ボタンまたは設定ユーティリティ画面上的 WPS 実行ボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線 LAN 接続を簡単に完了できます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格である WPA-PSK/WPA2-PSK に対応しています。WPA では、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信する SSID を無線クライアント側で表示されないようにする SSID ステルス機能、無線クライアントの MAC アドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●Web ブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンの Web ブラウザ上から、本体に内蔵された Web ベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Web ブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。

●その他多彩なルータ機能を装備

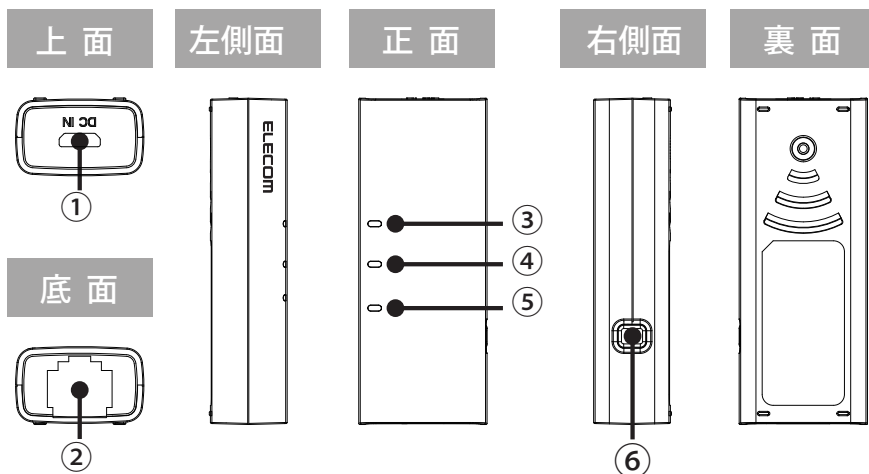
- ・「DHCP サーバ機能」を搭載し、パソコン側の IP アドレス設定などが不要
- ・ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- ・設定内容のバックアップ / 復元が可能

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種および OS	Windows 8/7/Vista/XP を搭載する Windows マシン Mac OS X (10.8/10.7/10.6) をインストールした Intel 製 CPU を搭載した Mac
対応ブラウザ (Web 設定ユーティリティ)	Internet Explorer 5.5 以降

4 各部の名称とはたらき



①	電源ジャック (microUSB)	USB2.0 (microB-A) 規格に準拠したケーブルを接続します。	
②	WAN ポート (青色)	本製品とホテルの LAN 端子を LAN ケーブルで接続します。	
③	WPS/Reset ランプ (青色)	点灯	リセット機能が起動
		点滅	WPS 機能が動作中
		消灯	通常時
④	WAN ランプ (青色)	点灯・点滅	WAN 側と接続中
		消灯	WAN 側と未接続の状態
⑤	WLAN ランプ (青色)	点灯・点滅	無線側と接続中
		消灯	無線側と未接続の状態
⑥	WPS/Reset ボタン	約 1～9 秒押すと、WPS 機能が起動 10 秒以上押すと、リセット機能が起動	

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。



●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンの Web ブラウザで表示するには、本製品とパソコンを USB または無線 LAN で接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P48「[設定ユーティリティ画面を表示する](#)」をお読みください。

ELECOM		アクセスポイントモード	
WRH-150xシリーズ 設定メニュー ▶ 動作モード選択 ▶ 無線設定 ▶ インターネット設定 ▶ システム設定 言語設定 日本語		ステータス 本製品のシステム情報を表示します。	
		システム	
		稼働時間	0日 0時9分56秒
		ファームウェアバージョン	v1.03.1
		動作モード	アクセスポイントモード
		LAN設定	
		IPアドレス	192.168.2.251
		サブネットマスク	255.255.255.0
		DHCPサーバー	Auto
		MACアドレス	58:b0:d4:05:83:7a
		無線設定 (1st SSID)	
		SSID	elecom2g-xxxxxx
		チャンネル	1ch
		暗号化	WPA2 Mixed
		BSSID	58:b0:d4:05:83:7a
		接続端末台数	1

メニュー項目	内容
動作モード選択	本製品の動作モードを設定します。(→ P50)
無線設定	無線 LAN に関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定 (→ P51)、詳細設定 (→ P53)、暗号化設定 (→ P57)、アクセスコントロール (→ P54)、WPS 設定 (→ P56) があります。
インターネット設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN 設定 (→ P64)、WAN 設定 (→ P68) があります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス (→ P73)、ファームウェア更新 (→ P75)、設定保存と復元 (→ P76)、パスワード設定 (→ P78) があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。
これらの確認事項は、本製品をご自宅で使用する際に必要な項目です。
ホテルでのご利用時は以下の項目の確認は不要です。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者 / プロバイダと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合は NTT とのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/ 光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者 / プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、IEEE802.11n/11g/11b いずれかの無線 LAN 機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線 LAN 機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルータ機能に無線 LAN 機能を搭載した無線 LAN ルータです。現在、プロバイダから提供されるブロードバンドモデムや終端装置には、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムや終端装置に本製品を接続する場合は、本製品のモードをアクセスポイントモードに設定してお使いいただけます。（本製品は、初期設定でアクセスポイントモードに設定されています。）

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品ルータモードでご使用になる場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要があります。

特に、NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザー ID とパスワードが必要になることがあります。また、固定 IP サービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。



アクセスポイントモードでご使用の場合

終端装置に搭載されたルータ機能を使用しているため、本製品をアクセスポイントモードで利用する場合は、[Chapter 2「4. 無線 LAN で接続する」\(→ P33\)](#)をお読みください。

プロバイダの情報について

ご契約のプロバイダによっては、ここに説明した内容と異なる場合があります。プロバイダ側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE 接続方式の場合

NTT フレッツサービスなど「PPPoE 接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザー ID とパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずですが、記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証 ID (ユーザー名) 【接続 ID】	
認証パスワード 【接続パスワード】	

※プロバイダによって認証 ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザー ID に「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE 接続でも、認証 ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。



フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合

プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザー ID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP 接続方式の場合

DHCP 接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダから固定 IP アドレスが提供されている固定 IP 方式の場合

インターネット側の IP アドレス（グローバル IP アドレス）が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
WAN 側 IP アドレス※ 1	
WAN 側サブネットマスク	
WAN 側ゲートウェイ	
DNS サーバアドレス	プライマリ DNS
	セカンダリ DNS

※ 1 グローバル IP アドレスです。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどとはつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に付属の「設定手順書①」などに、わかりやすい説明があります。

「設定手順書①」が見つからない場合は、エレコムホームページからもダウンロードできます。

1 セットアップの流れ

ホテルで使用する場合

ホテルの有線LANとの接続

ホテルの客室にある LAN 端子と、本製品の WAN ポート (青色) を、ホテルに設置されている LAN ケーブルで接続します。

電源の接続

本製品の電源ジャックに付属の USB ケーブルを接続して、以下のいずれかの方法で電源を取ります。→ P22

- ・ パソコンの USB ポートに接続
- ・ USB 型 AC アダプタ使用して、AC コンセントに接続

パソコンまたは無線子機※の接続

各機器に応じた接続設定を行います。

iPhone/iPad/iPod touch (iOS 4.0 以上でカメラ付きモデル) や Android 搭載スマートフォン / タブレットの設定には、専用アプリ「QR link」が使用できます。

これで設定は完了です。

※ 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。



注 意

アクセスポイントモード時に同一ネットワーク内へ本機種を複数台設置する場合、各機の IP アドレスを重複しないように固定 IP アドレスに設定してから設置してください。

正しく管理画面にアクセスすることができなくなります。

IP アドレスの固定方法は [P64「LAN 設定画面」](#) を参照ください。

ご自宅で使用する場合

プロバイダ情報の準備

回線の種別の情報やNTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

◆無線LANで接続する無線子機しか使用しない場合でも、インターネットの接続設定のために本製品をUSBでパソコンに接続する必要があります※1。

◆初めて本製品をパソコンに接続したときのみ、有線LANアダプタのドライバをインストールする必要があります。

本製品をアクセスポイントモードで使用する場合

本製品をルータモードで使用する場合

インターネット接続のための設定

設定ユーティリティを起動して、インターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。

PPPoE 接続(NTT フレッツサービスなど)や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。

無線 LAN 用のドライバ等のインストール

ご使用になる無線アダプタのドライバや設定ユーティリティを、無線子機にインストールしておきます。※2 iPhone/iPad/iPod touch(iOS 4.0 以上でカメラ付きモデル)や Android 搭載スマートフォン/タブレットの設定には、専用アプリ「QR link」が使用できます。

無線 LAN 接続の設定

WPS 機能に対応する場合

WPS機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※2

WPS 機能に対応しない場合

無線アダプタ側に、SSIDやセキュリティなどを手動で設定します。※2

無線 LAN でのインターネット接続の確認

無線LANで接続する無線子機からホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

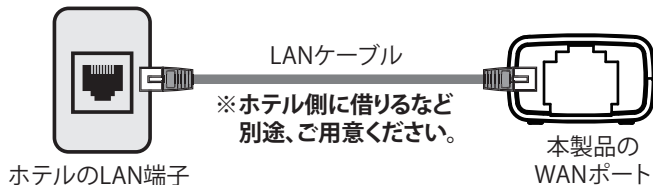
※1 本製品の設定ユーティリティに接続するためにパソコンをご用意ください。

※2 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

2 セットアップを始める前に

本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

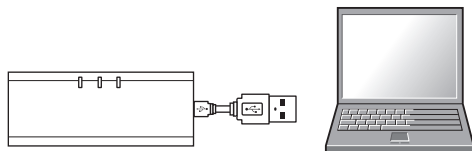
- 1 ホテルで使用する場合は、ホテルに客室に設置されている LAN 端子と、本製品の WAN ポート（青色）を、ホテルに設置されている LAN ケーブルで接続します。



※ご自宅で使用の場合は、インターネットに接続されたご自宅のブロードバンドモデムと接続してください。

- 2 本製品の電源ジャックに USB ケーブルを接続し、その後以下のいずれかの方法で電源を取ります。

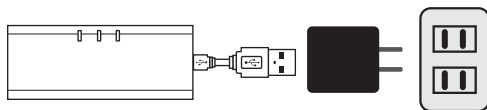
■パソコンの USB ポートを使用する場合



→ **3** に進んでください。(→ [P23](#))

※この時点では、まだ本製品をパソコンに接続しないでください。

■USB 型 AC アダプタを使用する場合



→ **4** に進んでください。(→ [P28](#))

※この時点で、本製品をコンセントに挿してください。

3 本製品に内蔵されている、有線 LAN アダプタのドライバをインストールします。



本項目は、本製品を初めてパソコンに接続した時のみに必要な手順です。



- ・使用中のアプリケーションはあらかじめ、すべて終了させてください。また、セキュリティソフトを一時的に無効にしてください。（詳しい手順は、セキュリティソフトの説明書をご参照ください。）
- ・管理者権限を持つユーザー上でインストールを行ってください。

Windows 8 の場合

- ① パソコンが完全に起動するのを待って、本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
- ② 右上にメッセージが表示されたら、クリックします。

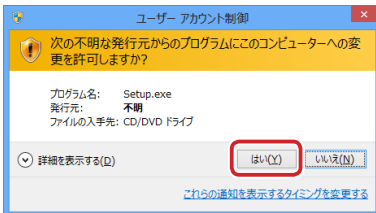
CD ドライブ (F:) Setup

タップして、このディスク に対して行う操作を選んでください。

- ③ 操作を選択する画面で「Setup.exe の実行」をクリックします。

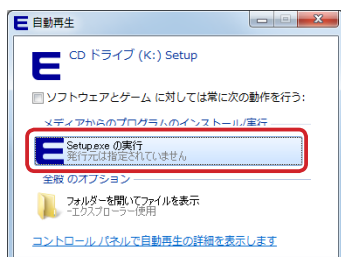


- ④ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」をクリックします。



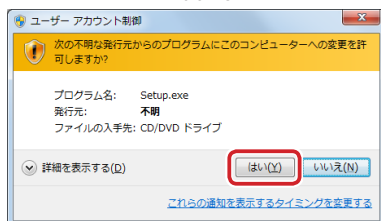
Windows 7、Windows Vista の場合

- ① パソコンが完全に起動するのを待って、本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
- ② 「自動再生」画面が自動的に表示されたら、「Setup.exe の実行」をクリックします。

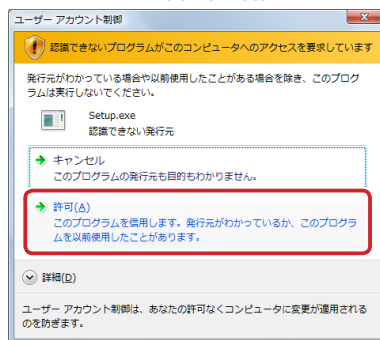


- ③ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「はい」または「許可」をクリックします。

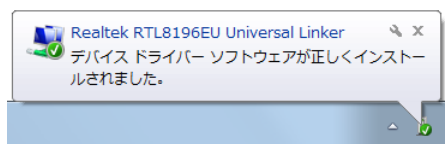
Windows 7



Windows Vista

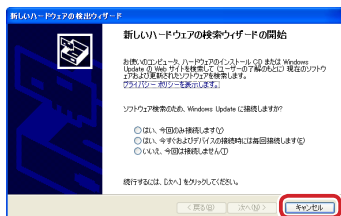


- ④ 通知領域に「デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というメッセージが表示されます。

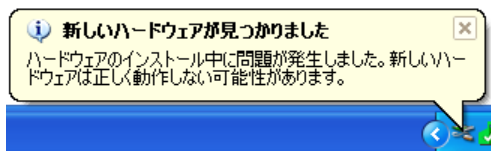


Windows XP の場合

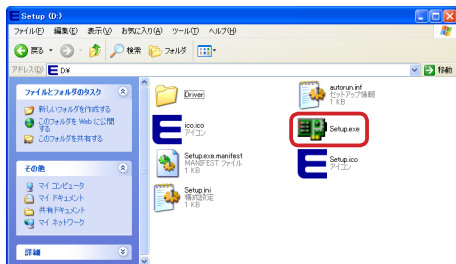
- ① パソコンが完全に起動するのを待って、本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
- ② 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合、[キャンセル] をクリックします。



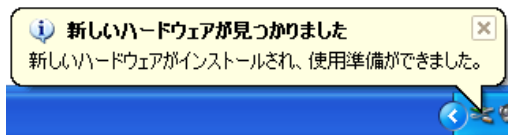
- ③ タスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが表示されます。



- ④ マイコンピュータから「Setup」ドライブを開いて「Setup (.exe)」をクリックします。

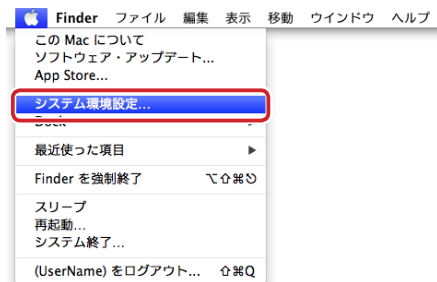


- ⑤ タスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが表示されます。



Mac OS の場合

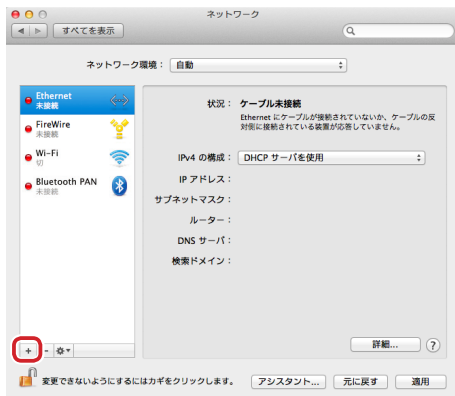
- ① パソコンが完全に起動するのを待って、本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
- ② 画面左上の [アップルメニュー] をクリックし、[システム環境設定] をクリックします。



- ③ [ネットワーク] をクリックします。



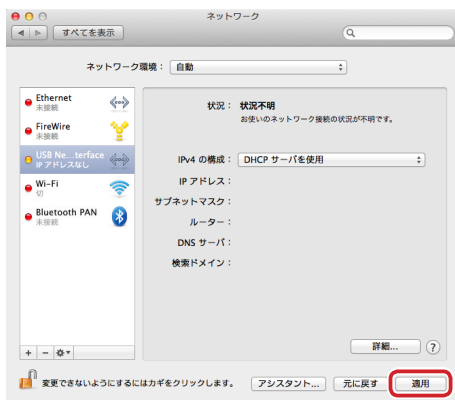
- ④ 画面左下の [+ (追加)] をクリックします。



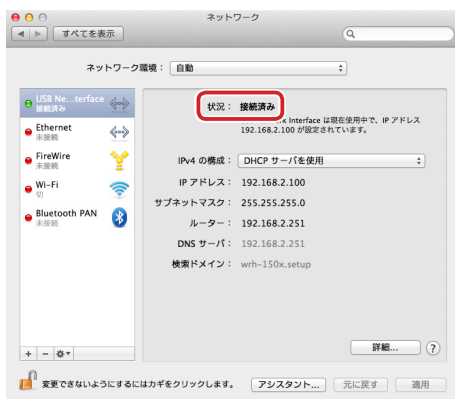
- ⑤ 「インターフェイス」項目で、「USB Network Interface」を選択し、[作成] をクリックします。



- ⑥ 「適用」をクリックします。



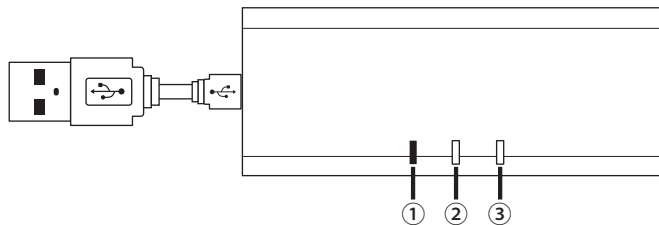
- ⑦ 状況が「状況不明」から「接続済み」になっていることを確認します。



以上でドライバのインストールは終了です。



ドライバのアンインストールについては [P80「有線 LAN アダプタドライバのアンインストール」](#) をご参照ください。

4 本製品のランプの状態が次のようになっていることを確認します。

①	WPS/Reset ランプ	消灯
②	WAN ランプ	青色点灯あるいは青色点滅
③	WLAN ランプ	青色点灯あるいは青色点滅

※電源を入れてから本状態になるまで、1 分ほど掛かります。

3 インターネット接続のための設定

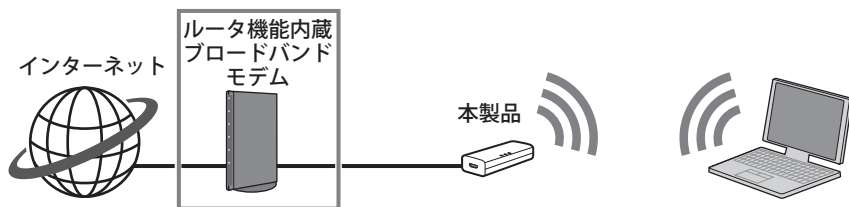
ここではご自宅で本製品を使ってインターネットに接続するまでの手順を説明します。
ホテルで使用する場合、このセットアップは不要です。

インターネット接続のタイプについて

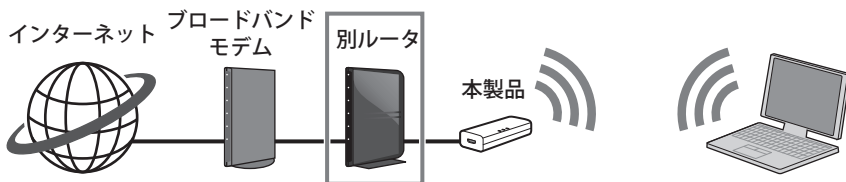
本製品を使用する前にインターネット接続のタイプを確認します。インターネットの接続設定のタイプによっては、本製品でインターネット接続の設定が不要な場合があります。無線子機（無線アダプタ）との設定は、WPS 機能を使って自動接続ができます。無線子機からの無線接続については、[P33「4 無線 LAN で接続する」](#)で説明しています。

インターネット接続のための設定が不要な場合

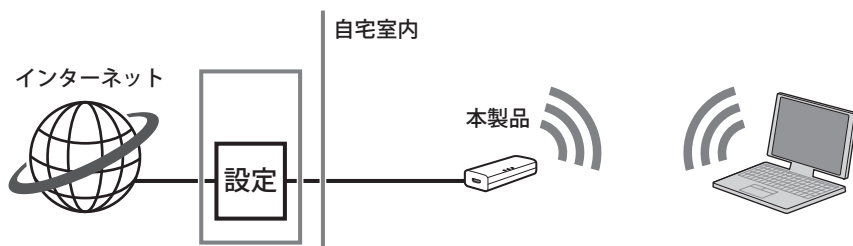
- ブロードバンドモデムにルータ機能があり、インターネットの設定がされている



- 別のルータがあり、そのルータにインターネットの設定がされている



●マンションのサービスで、インターネット設定がされている

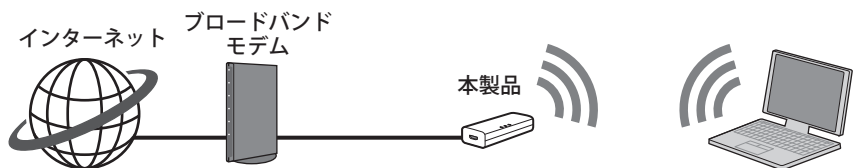


本製品ではインターネットへの接続設定は必要ありません。[P33「4. 無線 LAN で接続する」](#)へ進みます。

.....
インターネット接続のための設定が必要な場合

ご自宅のインターネット接続のタイプが次の場合やお買い上げの状態でインターネットへの接続がうまくいかない場合は、動作モードをルータモードに変更して、インターネットへの接続設定を行う必要があります。

[P50「2 動作モード選択」](#)、[P68「WAN 設定画面」](#)



インターネットへの接続作業が完了したら、[P33「4. 無線 LAN で接続する」](#)へ進みます。

本製品の設定のために有線 LAN で接続していたパソコンを、無線 LAN で接続するようにする場合は、LAN ケーブルを取り外し、パソコンの無線 LAN 機能が使用できるように準備しておいてください。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンから Web ブラウザを使って表示します。



パソコンは IP アドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品の DHCP サーバ機能により、パソコンが IP アドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定の IP アドレスを設定している場合は、パソコンの IP アドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品の IP アドレス（初期値）＝ 192.168.2.251

1 ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側が IP アドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

3 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://wrh-150x.setup」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



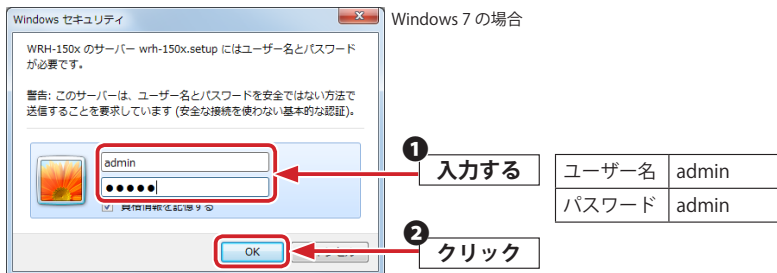
- 認証画面が表示されます。



認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、パソコンと本製品の USB ケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて 3 分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンの IP アドレスを確認してください（→ P88 「パソコンの IP アドレスを表示する」）

4 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。



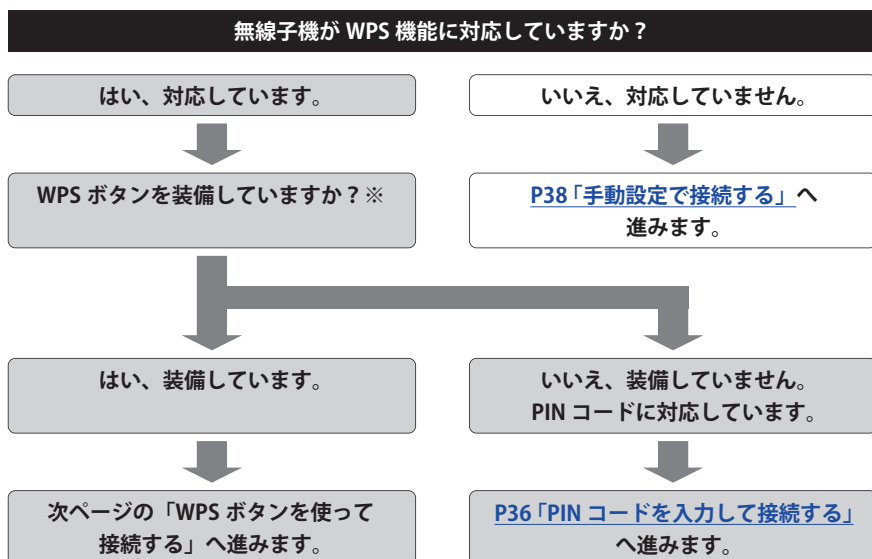
不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします (→ P78「[パスワード設定画面](#)」)。

4 無線 LAN で接続する

パソコンの無線子機（無線アダプタなど）から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品は WPS 機能に対応しています。WPS 機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線 LAN 機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PIN コード方式」の両方に対応しています。WPS 機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。

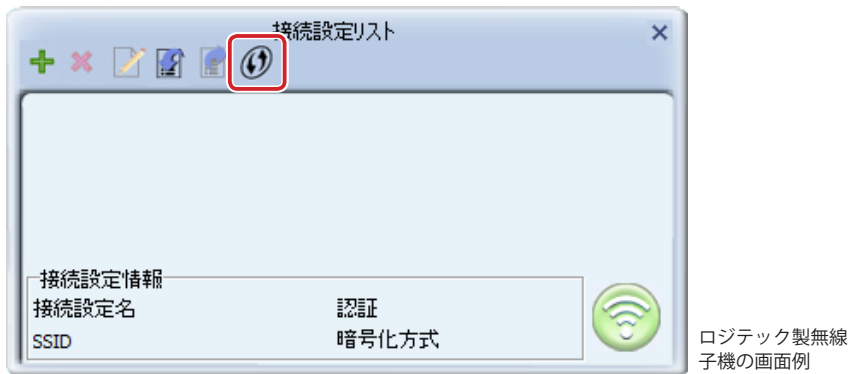


※ WPS ボタンについて

WPS の「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPS ボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPS ボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。

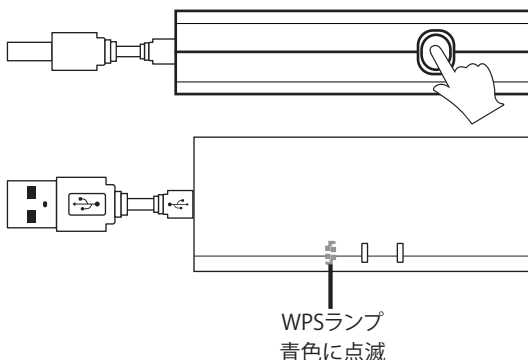


- 3 本製品の側面にある「WPS/Reset ボタン」を 3 秒以上押して、離します。



注意

「WPS/Reset ボタン」を 10 秒以上長押しすると、本製品のリセット機能が働きます。必ず 9 秒以内に手を離してください。



- WPS ランプが青色に点滅し、WPS 対応の無線子機の接続を待つ状態になります。WPS ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。



接続が完了するか、一定時間（約 2 分間）がすぎると WPS ランプは消灯します。

4 無線子機側の WPS 用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- ・弊社製の WPS 対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を 1 秒以上押して、離します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの [WPS] ボタンをクリックします。

5 無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。

ロジック製無線子機の画面例

- ・本製品の WPS ランプは消灯します。

6 Web ブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。

エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

7 これで WPS 機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。

PIN コードを入力して接続する

WPS 機能の PIN コード方式で設定します。無線ルータ側に設定された PIN コードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定された PIN コードを無線ルータに入力する方法があります。ここでは無線ルータ側に設定された PIN コードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。



無線子機側の PIN コードを本製品に入力する場合

[P56「WPS 機能の設定」](#)をお読みになり、「無線端末の PIN コード入力」に、無線子機側の PIN コードを入力し、実行してください。

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 本製品の設定ユーティリティを表示します。
 - ・設定ユーティリティの表示方法については、[P31「設定ユーティリティを表示する」](#)を参照してください。
- 3 設定ユーティリティで画面左のメニューリストから「無線設定」→「WPS 設定」を選択して、「WPS 設定」画面を表示します。
- 4 「本製品の PIN コード」をメモします。

WPS設定

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

☐ WPSの無効

適用

本製品のPINコード: 26265322

PBC方式で接続: 実行

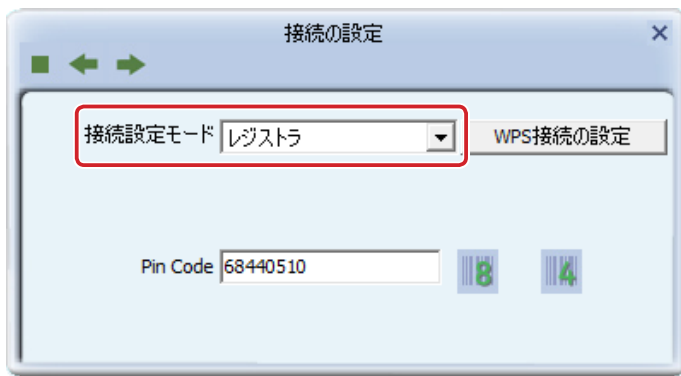
無線端末のPINコード入力: 実行

現在の暗号キー情報:

認証	暗号化	暗号キー
WPA2-Mixed PSK	TKIP+AES	123456789ABCD

本製品の PIN コード

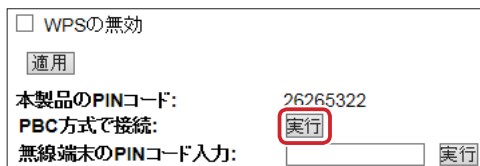
- 5** 無線子機の説明書をお読みにになり、無線子機の PIN コードの「接続設定モード」を「レジストラ」に設定してから、本製品の PIN コードを無線子機側に入力します（※）。



ロジテック製無線子機の画面例

※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

- 6** 本製品の設定ユーティリティの〈WPS 設定〉画面で、「PBC 方式で接続」の「実行」をクリックします。



- 7** 無線子機側で PIN コードの受信を実行します。



ロジテック製無線子機の画面例

- 8** 設定後、無線 LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS 機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値（初期値）	
SSID	elecom2g-xxxxxx ※ x は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。	
認証方式	WPA2-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。
WPA ユニキャスト 暗号スイート	WPA2-PSK	
共有キー フォーマット	パスフレーズ	
暗号キー	本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。	

●設定情報シート

設定情報シート（初期値）

2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed
暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY

※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。

※「yyyyyyyyyyyyyy」には、13桁のランダムな数字が入ります。

設定用 QR コード



※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。

PASS 記入欄



上記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シート上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機側の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2** 無線子機の設定ユーティリティを起動します。
- 3** 設定ユーティリティのリストの SSID に「elecom2g-xxxxxx」と表示された場合は選択します。
 - x は、0～9、a～f のランダムな英数字です。
 - SSID を自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品の SSID の設定値（例:elecom2g-xxxxxx）を半角英数字（小文字）で入力します。
- 4** 本製品はセキュリティ機能として暗号化機能（WPA2-PSK/AES/パスフレーズ 13 文字）があらかじめ設定済みです。無線子機の設定ユーティリティにある「暗号化」に関する設定画面を表示します。
- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。
- 6** 設定後、無線 LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する

iOS 4.0 以降のカメラ付きモデルでは、「App Store」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

1 メインメニューの「設定」をタップします。



※画面は iPhone 5 の例です。

2 設定メニューの「Wi-Fi」をタップします。



- 3 「ネットワークを選択」のリストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じ SSID を選択し、タップします。



Wi-Fi がオフのときは、タップしてオンにします。

※ XXXXXX には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。



elecom2g-xxxxxx が複数見つかった場合

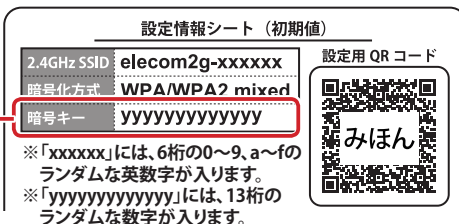
近隣に同じ SSID の無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。

※通信が安定しない場合は、SSID の変更をお勧めします。

- 4 本製品のパスワードを入力し、Join をタップします。



●設定情報シート



- ・パスワード（暗号キー）は、「設定情報シート」に表示された 13 桁のランダムな数字です。

※英字を大文字で入力するには都度、毎回このキーをタップして大文字で入力してください。

5 正しく接続できたか確認します。



✓ マークが表示されていることを確認します。



注意

●無線接続に失敗した場合

手順 **4** で誤ったパスワードを入力した可能性があります。次の手順で接続をやり直してください。

- ① リストに表示された「elecom2g-xxxxxx」の右端にある [＞] をタップします。
- ② [このネットワーク設定を削除] をタップします。
- ③ 手順 **3** からやり直します。

●「ネットワーク“elecom2g-xxxxxx”に接続できません。」と表示された場合

- ・ iPhone/iPad/iPod touch の電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- ・ Bluetooth 機能がオンの場合、電波干渉により Wi-Fi 接続ができないことがあります。Bluetooth 機能をオフにしてからやり直してください。

6 ホームボタンでメインメニューに戻ります。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザ（Safari など）による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Android スマートフォン / タブレットを接続する

Android2.1 以降のカメラ付きモデルでは、「Google Play」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

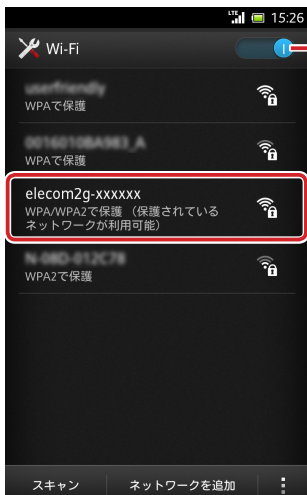


画面は SO-04D での例です。お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォン/タブレットの説明書をご確認ください。

1 メニューボタンを押します。

2 「設定」をタップします。

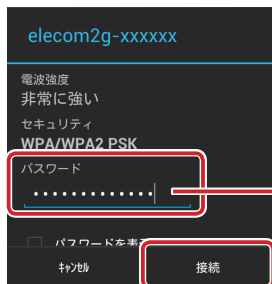


3 [無線とネットワーク] の [Wi-Fi] をタップします。**4** リストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じ SSID を選択し、タップします。

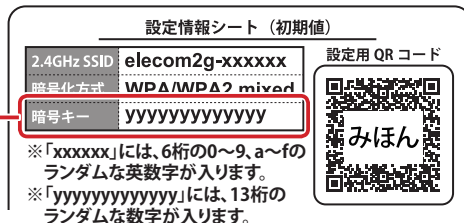
Wi-Fi がオフのときは、タップしてオンにします。

※ XXXXXX には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が組み合わさって表示されます。

5 パスワードを入力して、**接続** をタップします。



● 設定情報シート



- ・パスワード（暗号キー）は、「設定情報シート」に表示された 13 桁のランダムな数字です。

6 選択したネットワークに接続できていることを確認します。



画面上部に  が表示されていることを確認します。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザによる認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Chapter 3

.....

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンから Web ブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

あらかじめ、[P22「2 セットアップを始める前に」](#)を参照し、本製品とパソコンを USB または無線 LAN 接続しておいてください。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「http://wrh-150x.setup」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



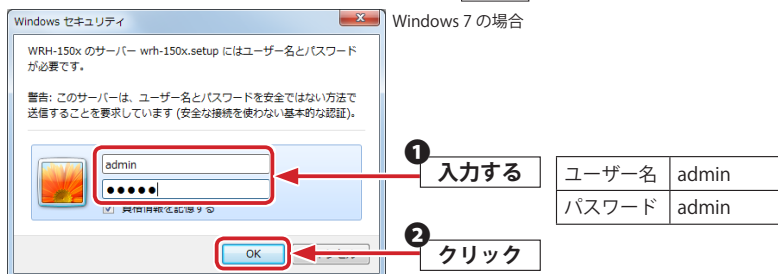
・認証画面が表示されます。



認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約 3 分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- ・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- ・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- ・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします (→ P78「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

ELECOM		アクセスポイントモード	
WRH-150xシリーズ 設定メニュー ▶ 動作モード選択 ▶ 無線設定 ▶ インターネット設定 ▶ システム設定 言語設定 日本語 ▼		ステータス 本製品のシステム情報を表示します。	
		システム	
		稼働時間	0日 0時9分56秒
		ファームウェアバージョン	v1.03.1
		動作モード	アクセスポイントモード
		LAN設定	
		IPアドレス	192.168.2.251
		サブネットマスク	255.255.255.0
		DHCPサーバー	Auto
		MACアドレス	58:b0:d4:05:83:7a
		無線設定 (1st SSID)	
		SSID	elecom2g-xxxxxx
		チャンネル	1ch
		暗号化	WPA2 Mixed
		BSSID	58:b0:d4:05:83:7a
		接続端末台数	1

メニュー項目	内容
動作モード選択	本製品の動作モードを設定します。(→ P50)
無線設定	無線 LAN に関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定 (→ P51)、詳細設定 (→ P53)、暗号化設定 (→ P57)、アクセスコントロール (→ P54)、WPS 設定 (→ P56) があります。
インターネット設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN 設定 (→ P64)、WAN 設定 (→ P68) があります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス (→ P73)、ファームウェア更新 (→ P75)、設定保存と復元 (→ P76)、パスワード設定 (→ P78) があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

2 動作モード選択

本製品の動作モードを選択する画面です。

工場出荷時は、アクセスポイントモードに設定されています。

画面の
表示

画面左のメニューリストから「動作モード選択」を選択します。

動作モード選択

本製品の動作モードを選択できます。

- ☒ ルーターモード
- ☐ アクセスポイントモード

ルーターモード	インターネットの設定を登録し、接続している端末に IP アドレスを振り、コントロールを一元管理します。
アクセスポイントモード	ルーター機能内蔵のブロードバンドモデムや終端装置に接続して、ワイヤレスネットワークを拡張したり、既存の LAN に無線のアクセスポイントとして接続する場合に使用します。 インターネットの設定やコントロールは、すべて別のルーターに託します。 本製品は、出荷時はアクセスポイントモードに設定されています。

3 無線設定

本製品の無線 LAN 機能を設定します。

基本設定



画面左のメニューリストから [無線設定] → [基本設定] を選択します。

基本設定

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行えます。

マルチSSID

1st SSID:

elecom2g-xxxxxx

(最大32文字)

チャンネル幅:

20MHz ▼

チャンネル:

Auto ▼

SSIDステルス機能:

無効 ▼

適用



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **後で再起動する** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **今すぐ再起動する** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

マルチ SSID	本製品は、2 つの SSID を同時に使用することができます。SSID ごとにセキュリティレベルを変更することもできます。設定方法は、 P52「マルチ SSID を設定する」 をお読みください。
1st SSID	無線 LAN で使用する SSID を入力します。初期値は「elcom2g-xxxxxx」（「xxxxxx」には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。）が登録されています。
チャンネル幅	11n 規格でのチャンネル幅を設定します。11n 対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。（初期値：20MHz）
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1～13ch の中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（初期値：Auto） （例）1ch/6ch/11ch
SSID ステルス機能	「無効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。（初期値：無効）

マルチ SSID を設定する

マルチ SSID 設定

マルチ SSID の設定を行います。

No.	有効	SSID (最大32文字)	SSIDステルス	SSIDセパレータ
2nd SSID	☒	elcom2g2nd-xxxxxx	無効 ▼	無効 ▼

適用

- ① をクリックします。
- ② 「有効」をチェックします。
- ③ SSID に 2 つめの SSID として最大 32 文字の任意の文字列を入力します。
- ④ 必要に応じて、高度な設定をします。
- ⑤ をクリックします。このあとの操作は [P51「設定を変更した場合」](#)をお読みください。

● SSID セパレータ

「有効」にすると設定中のネットワーク名 (SSID) に接続している無線 LAN 子機は、本商品の WAN 側へのアクセスのみ可能になり、同一ネットワークの他の無線 LAN 子機にもアクセスできなくなります。

詳細設定画面

無線 LAN の高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線 LAN に関する十分な知識が必要です。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [詳細設定] を選択します。

詳細設定

Wi-Fi(無線LAN)の詳細設定を行います。

※本項目は、Wi-Fi(無線LAN)に関して十分な知識を持っている上級者向けです。

プライバシーセパレータ: ☐有効 ☒無効

送信出力: ☒100% ☐70% ☐50% ☐35% ☐15%



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●**詳細設定** 各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

プライバシーセパレータ	「有効」にすると本製品に接続している無線 LAN 子機の端末同士のアクセスを禁止することができます。(初期値：無効)
送信出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値：100%)

アクセスコントロール画面

登録した MAC アドレスを持つ無線子機とだけ無線 LAN で通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。



画面左のメニューリストから **【無線設定】** → **【アクセスコントロール】** を選択します。

アクセスコントロール 設定
 特定端末の無線接続を管理できます。

コントロールモード: なし

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択
選択して削除 全て削除		



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **後で再起動する** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **今すぐ再起動する** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

コントロールモード	「なし」………アクセスコントロール機能を使用しません。 「接続許可」………[アクセスコントロールリスト] に登録した MAC アドレスを持つ無線子機だけが無線 LAN で接続できます。 「拒否リスト」………[アクセスコントロールリスト] に登録した MAC アドレスを持つ無線子機との無線 LAN 接続を拒否します。
MAC アドレス	本製品への無線 LAN 接続を許可または拒否する無線子機の MAC アドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●アクセスコントロールリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録した無線子機の情報削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。

無線子機の登録方法

アクセスコントロール設定

特定端末の無線接続を管理できます。

コントロールモード:

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全て削除	

- ① [コントロールモード] で「接続許可」または「拒否リスト」を選択します。
- ② [MAC アドレス] に無線子機の MAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ③ 必要に応じて [コメント] に無線子機を区別するための名称など、コメントを入力します。
- ④ をクリックします。このあとの操作は [P54「設定を変更した場合」](#) をお読みください。
- ⑤ 登録する無線子機が複数ある場合は、①～④を繰り返します。

WPS 機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [WPS 設定] を選択します。

WPS設定

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

☐ WPSの無効

本製品のPINコード: 26265322

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

現在の暗号キー情報:

認証	暗号化	暗号キー
WPA2-Mixed PSK	TKIP+AES	123456789ABCD



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● WPS 設定

WPS の無効	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
本製品の PIN コード	本製品の PIN コードを表示します。
PCB 方式で接続	実行 をクリックすることで、WPS 機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS 設定ボタン」を押すのと同じことです。
無線端末の PIN コード入力	本製品側で無線子機の PIN コードにあわせる場合に、ここに無線子機側の PIN コードを入力し、 実行 をクリックします。
現在の暗号キー情報	現在の暗号化設定の情報を表示します。

4 セキュリティを設定する(暗号化設定)

無線 LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線 LAN の普及期からある暗号化方式です。本製品は 64bit と 128bit の 2 種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線 LAN 環境で WPA-PSK または WPA2-PSK が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK (TKIP) と WPA2-PSK (AES) が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PSK (TKIP) と WPA2-PSK (AES) の混在環境に対応します。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値（初期値）							
SSID	elecom2g-xxxxxx ※ xxxxxx は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。							
認証方式	WPA2-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。						
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。						
WPA ユニキャスト 暗号スイート	WPA2-PSK							
共有キー フォーマット	パスフレーズ							
暗号キー	本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。							
	●設定情報シート 設定情報シート（初期値） <table><tr><td>2.4GHz SSID</td><td>elecom2g-xxxxxx</td></tr><tr><td>暗号化方式</td><td>WPA/WPA2 mixed</td></tr><tr><td>暗号キー</td><td>YYYYYYYYYYYYYY</td></tr></table> ※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。 設定用 QR コード  ※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。 PASS 記入欄		2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY
2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx							
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed							
暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY							

WEP の設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [暗号化設定] を選択します。

◆ WEP 選択時の設定画面

暗号化設定

セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx 適用

暗号化: WEP

キーの長さ: 128-bit

キーの種類: ASCII (13文字)

暗号キー1: ●●●●●●●●●●●●●●●●

パスワードの表示: ☐

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。

1

[SSID の選択] で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx
elecom2g2nd-xxxxx
WPA_Mixed 適用

暗号化: WPA_Mixed

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

選択する

2

[暗号化] で、[WEP] を選択します。

セキュリティのために、暗号化を設定します。

SSIDの選択: なし
WEP
WPA
WPA2
WPA-Mixed 適用

暗号化: WPA-Mixed

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

選択する

3 [キーの長さ] でセキュリティ強度を選択します。通常は 128bit を選択します。

暗号化: 64-bit 128-bit

キーの長さ: 128-bit

キーの種類: ASCII (13文字)

選択する



ご使用になる無線子機が 64bit にしか対応していない場合などは、64bit を選択します。ご使用になる無線子機に 1 台でも 64bit にしか対応していないものがある場合は、64bit しか使用できません。なお、64bit はセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 [キーの種類] で暗号キーの入力形式を選択します。

キーの長さ: 128-bit

キーの種類: ASCII (13文字) Hex (26文字)

暗号キー1:

パスワードの表示: ☐

選択する

・ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5 文字)	キー長で 64bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、半角英数字 5 文字を入力します。
ASCII (13 文字)	キー長で 128bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、半角英数字 13 文字を入力します。
Hex (10 文字)	キー長で 64bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、16 進数 10 文字を入力します。
Hex (26 文字)	キー長で 128bit を選択した場合です。[暗号化キー] に、16 進数 26 文字を入力します。

※ 16 進数とは、0～9、a-f を組み合わせた文字列です。

5 手順 4 で選んだ入力形式で、暗号キーを入力します。

キーの種類: ASCII (13文字)

暗号キー1:

パスワードの表示: ☒

入力する

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

・ASCII の場合は大文字と小文字が区別されます。Hex の場合は大文字と小文字は区別されません。

6 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx ▼ **適用**

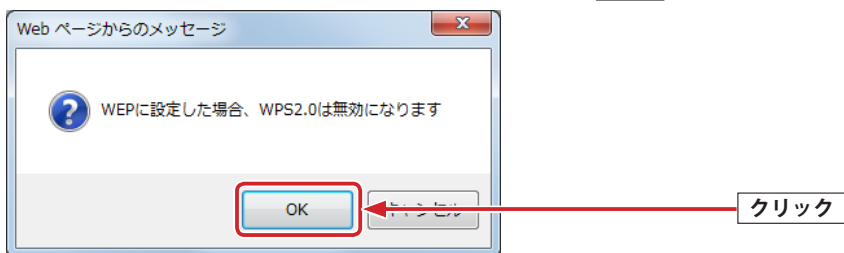
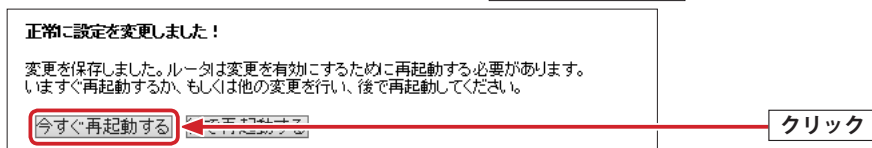
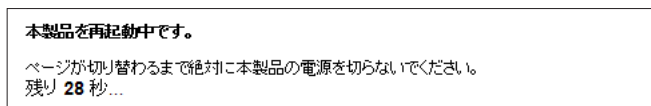
暗号化: WEP ▼

キーの長さ: 128-bit ▼

キーの種類: ASCII (13文字) ▼

暗号キー1:

パスワードの表示: ☐

7 確認メッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、**OK** をクリックします。**8** 「正常に設定を変更しました！」と表示されます。**今すぐ再起動する** をクリックします。**9** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。**10** これで本製品の WEP によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSK の設定

WPA-PSK (TKIP) または WPA2-PSK (AES) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSK は、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「暗号キー」を決めておいてください。



本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。



画面左のメニューリストから [無線設定] → [暗号化設定] を選択します。

◆ WPA-PSK 選択時の設定画面

暗号化設定

セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

elecom2g-xxxxxx ▼

適用

暗号化:

WPA ▼

WPA暗号スイート:

☒ TKIP ☐ AES

キーの種類:

パスフレーズ ▼

暗号キー:

●●●●●●●●

パスワードの表示:

☐

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 [暗号化] で、[WPA]、[WPA2] または [WPA2-Mixed] を選択します。

セキュリティのために、暗号化を有効にします。

SSIDの選択:

暗号化: なし WEP WPA WPA2 WPA-Mixed 選択する

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

WPA	WPA-PSK を使用します。[WPA 暗号スイート] は、「TKIP」がオンになります。
WPA2	WPA2-PSK を使用します。[WPA2 暗号スイート] は、「AES」がオンになります。
WPA2-Mixed	無線クライアントに WPA-PSK (「AES」または「TKIP」) と WPA2-PSK (「AES」または「TKIP」) が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

2 [暗号キー] で、暗号キーの入力形式を選択します。

暗号化: WPA

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

キーの種類: パスフレーズ HEX (64文字) 選択する

暗号キー:

パスワードの表示: ☐

パスフレーズ	半角英数字 (8 ～ 63 文字) を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
Hex	16 進数 64 文字 (固定) を使用できます。大文字と小文字は区別されません

※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a-f を組み合わせた文字列です。

3 [暗号キー] に、手順 **2** で選択した入力形式で文字列を入力します。

キーの種類: パスフレーズ

暗号キー: 入力する

パスワードの表示: ☐ ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

4 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx 適用 クリック

暗号化: WPA

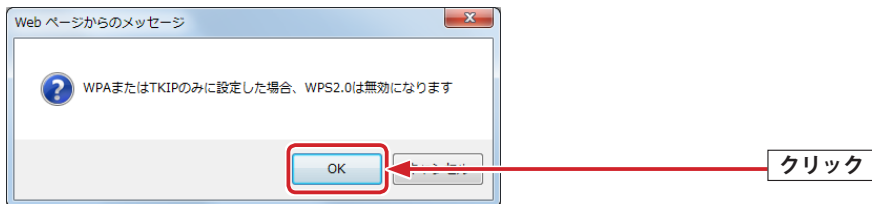
WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

キーの種類: パスフレーズ

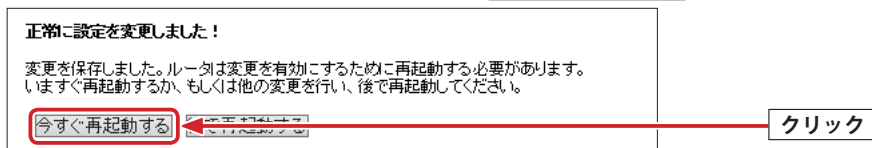
暗号キー:

パスワードの表示: ☐

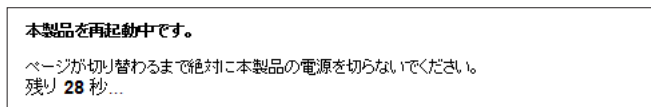
- 5** 確認メッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、**OK** をクリックします。



- 6** 「正常に設定を変更しました！」と表示されます。**今すぐ再起動する** をクリックします。



- 7** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。



- 8** これで本製品の WPA によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

・無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

5 インターネット設定

WAN ポートに関する設定をします。

LAN 設定画面

本製品の LAN（ローカルネットワーク）側の IP アドレス情報等を設定します。



ルータモードとアクセスポイントモードで表示される内容が異なります。



画面左のメニューリストから「インターネット設定」→「LAN 設定」を選択します。

●アクセスポイントモードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

●ルータモードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DHCP範囲: -

DHCPリース時間: (1 ~ 10080 分)

固定DHCP:



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.2.251」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなど LAN から外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータの LAN 側 IP アドレスを入力します。
DHCP 範囲	DHCP サーバ機能を利用する場合、DHCP サーバがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 接続端末の表示 をクリックすると、接続中の端末の IP アドレス一覧が別ウィンドウで表示されます。
DHCP リース時間	DHCP サーバが割り当てる IP アドレスの有効時間を入力します。1 ～ 10080 分の範囲で設定できます。初期値は「480」です。
固定 DHCP	固定 DHCP の設定 をクリックすることで、クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。設定方法については P66「固定 DHCP 設定画面」 をお読みください。

固定 DHCP 設定画面

DHCP サーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定の IP アドレスを割り当てたい場合があります。クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。



画面左のメニューリストから「インターネット設定」→「LAN 設定」を選択し、「固定 DHCP の設定」をクリックします。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。

☐ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字)

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全て削除		



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「後で再起動する」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「今すぐ再起動する」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

固定 DHCP の有効	この項目をチェックしている場合に、固定 DHCP リストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定 DHCP リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。

固定 DHCP の設定方法

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字)

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全て削除		

- ① 「固定 DHCP の有効」をチェックします。
- ② クライアントに割り当てたい IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.100
- ③ クライアントの MAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ④ 必要に応じて [コメント] に、コメントを入力します。
- ⑤ **適用** をクリックすると「正常に設定を変更しました!」と表示されます。
- ⑥ 登録するクライアントを追加する場合は **後で再起動する** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **今すぐ再起動する** をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN 設定画面



ルータモードのときにのみ表示される画面です。

本製品の WAN（インターネット）側の設定をします。[WAN アクセスタイプ] で、DHCP・PPPoE・固定 IP のいずれを選択するかで、設定画面が異なります。



画面左のメニューリストから [インターネット設定] → [WAN 設定] を選択します。

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: DHCP ▼

ホスト名: (最大30文字)

MTUサイズ: 1454 (1400-1492 バイト)

☒ **DNSサーバのアドレスを自動的に取得する**
☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)
DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)
DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー: 000000000000

コピー [接続中のPCからMACアドレスをコピー]

☐ UPnPを有効にする
☐ WAN経由でのping実行を有効にする

適用

●「DHCP」を選択した場合 ※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1492) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS サーバの設定	● DNS サーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的に DNS サーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバを使用する プロバイダから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 ~ 3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使用します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。

UPnP を有効にする	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：無効）
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答ようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。（初期値：無効）



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「後で再起動する」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「今すぐ再起動する」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● 「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: PPPoE ▼

ユーザー名: (最大57文字)

パスワード: (最大57文字)

サービス名: (最大40文字)

接続タイプ: 自動再接続 ▼ 接続 切断

アイドル時間: (1-1000 分)

MTUサイズ: (1360-1492 バイト)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー:

[接続中のPCからMACアドレスをコピー]

☐ UPnPを有効にする

☐ WAN経由でのping実行を有効にする

ユーザー名	プロバイダより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ <u>elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。

接続タイプ	接続タイプを「常時接続」「自動再接続」「手動切替え」から選択します。 常時接続…… インターネットに常時接続します。 自動再接続…… インターネットへの接続要求があったときに自動的に接続し、指定時間が経過すると自動的に切断します。 手動切替え…… インターネットへの接続、切断を手動で行います。 コピー をクリックするとインターネットに接続します。 切断 をクリックするとインターネット接続を切断します。
アイドル時間	接続タイプで「自動再接続」を選択した場合に、最後の接続要求から自動的に接続を切断するまでの時間（1～1000）を分単位で入力します。
MTU サイズ	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1360～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNS サーバの設定	● DNS サーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的に DNS サーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバを使用する プロバイダから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2～3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使います。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。
UPnP を有効にする	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：無効）
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。（初期値：無効）



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定	
本製品のWAN設定を行います。	
WANアクセスタイプ:	固定IP ▾
固定IP:	172.1.1.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	172.1.1.254
MTUサイズ:	1454 (1400-1500 バイト)
DNS 1:	(記入例: 192.168.5.44)
DNS 2:	(記入例: 192.168.5.43)
DNS 3:	(記入例: 192.168.5.42)
MACアドレスコピー:	000000000000 コピー [接続中のPCからMACアドレスをコピー]
☐ UPnPを有効にする ☐ WAN経由でのping実行を有効にする	
適用	

固定 IP	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1500) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
DNS1	プロバイダから DNS アドレスの指示が 1 個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダから DNS アドレスの指示が 2 個ある場合は、こちらにセカンダリ DNS のアドレスを入力します。
DNS3	プロバイダから DNS アドレスの指示が 3 個ある場合は、こちらにタertiary DNS のアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使います。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。 UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 無効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値: 無効)



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「後で再起動する」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「今すぐ再起動する」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

6 システム設定

ステータス画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。



画面左のメニューリストから [システム設定] → [ステータス] を選択します。

ステータス	
本製品のシステム情報を表示します。	
システム	
稼働時間	0日 0時45分21秒
ファームウェアバージョン	v1.03.1
動作モード	ルータモード
WAN設定	
IPアドレス	192.168.24.61
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.24.1
MACアドレス	58:b0:d4:05:83:7b
LAN設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	58:b0:d4:05:83:7a
無線設定 (1st SSID)	
SSID	elecom2g-xxxxxx
チャンネル	1ch
暗号化	WPA2 Mixed
BSSID	58:b0:d4:05:83:7a
接続端末台数	1
無線設定 (2nd SSID)	
SSID	elecom2g2nd- _xxxxx
チャンネル	1ch
暗号化	WEP 128bits
BSSID	00:e0:13:81:96:b2
接続端末台数	0

●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
モード	現在の通信モードを表示します。本製品では、アクセスポイントモードとルータモードが選択できます。

● WAN 設定

(ルータモード時のみ表示)

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスを表示します。

● LAN 設定

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。
MAC アドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

●無線設定 (1st SSID)

SSID	現在使用中の SSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	この SSID に接続している無線子機の数です。

●無線設定 (2nd SSID)

(マルチ SSID 設定時のみ表示)

SSID	現在使用中のマルチ SSID の SSID を表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	この SSID に接続している無線子機の数です。

ファームウェア更新画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社 Web サイトのサポートページよりダウンロードできます。

<http://www.elecom.co.jp/>

画面の
表示

画面左のメニューリストから [システム設定] → [ファームウェア更新] を選択します。

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。

ファームウェアバージョン: v1.03.1

ファイルの選択: 参照...

更新

ファームウェアの更新手順

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。

ファームウェアバージョン: v1.03.1

ファイルの選択: C:\WRH-150x_x1.05.bin 参照...

更新

- ❶ 弊社ホームページの【ダウンロード】から、本製品の最新ファームウェアを【検索】して、パソコンに保存します。
 - ・ダウンロードファイルは圧縮されています。解凍してからご利用ください。(OS によっては、解凍作業は不要です。)
 - ・ダウンロード前に注意事項などがいないか、ダウンロードページでご確認ください。
 - ❷ **参照** をクリックします。
 - ❸ 解凍したファームウェア（拡張子が bin のファイル）を指定して、**開く** をクリックします。
 - ❹ **更新** をクリックします。
 - ❺ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
 - ・完了まで絶対に製品の電源を切らないでください。
 - ❻ 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。
- 以上で、ファームウェアの更新は終了です。
- 本製品から電源ケーブルを抜き差しした上で、お使いください。

設定保存と復元画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから「システム設定」→「設定保存と復元」を選択します。

設定保存と復元
 現在の設定を保存したり、復元したり、初期化したりできます。

設定を保存:	保存	
設定を復元:		参照... 復元
設定を初期化:	初期化	

設定の保存方法

設定を保存:

- ① 「設定の保存」の をクリックします。
- ② 「ファイルのダウンロード」画面が表示されますので、 をクリックします。
- ③ 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、 をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。

設定の復元方法

設定を復元:

- ① 「設定を復元」の をクリックします。
- ② 「ファイルの選択」画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- ③ をクリックします。
- ④ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- ⑤ 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

設定を初期化（工場出荷時の状態）する

本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

設定を初期化:

初期化

- ❶ 「設定を初期化」の **初期化** をクリックします。
- ❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので **OK** をクリックします。
- ❸ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- ❹ 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定 / 変更します。



画面左のメニューリストから [システム設定] → [パスワード設定] を選択します。

パスワード設定

本製品の管理画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを変更できます。
 ※ユーザー名を空欄にすると、パスワードによる保護は設定できません。
 ※全ての項目は、半角英数字(a~f, 0~9)で設定してください。
 ※情報漏洩を低減するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

ユーザー名: (最大30文字)

新パスワード: (最大30文字)

新パスワードの確認:



●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- ① [ユーザー名] に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- ② [新パスワード] に、新しく設定するパスワードを入力します。
- ③ [新パスワードの確認] に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- ④ をクリックします
- ⑤ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
0 秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
- ⑥ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。
・ 設定ユーティリティのトップ画面が表示されます。

Appendix

.....

付録編

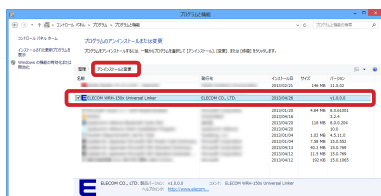
1 有線 LAN アダプタドライバのアンインストール

Winows 8 の場合

- ① スタート画面で右クリックして「すべてのアプリ」－「コントロールパネル」をクリックします。
- ② 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。



- ③ インストールされているプログラムの一覧から「ELECOM WRH-150x Universal Linker」を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。



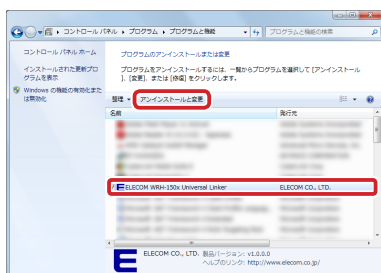
以上でドライバのアンインストールは終了です。

Winows 7、Windows Vista の場合

- ① スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。
- ② 「プログラム」－ [プログラムのアンインストール] をクリックします。



- ③ インストールされているプログラムの一覧から「ELECOM WRH-150x Universal Linker」を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。



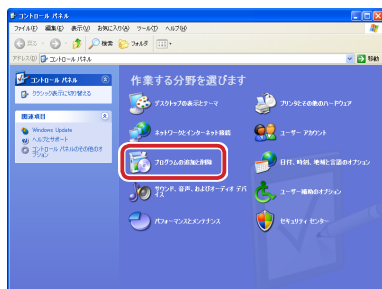
- ① Windows Vista で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行] をクリックします。



以上でドライバのアンインストールは終了です。

Winows XP の場合

- ① スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。
- ② [プログラムの追加と削除] をクリックします。



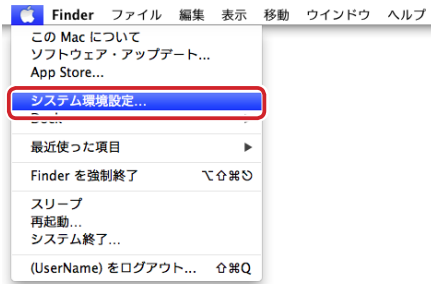
- ③ インストールされているプログラムの一覧から「ELECOM WRH-150x Universal Linker」を選択し、[変更と削除] をクリックします。



以上でドライバのアンインストールは終了です。

Mac OS の場合

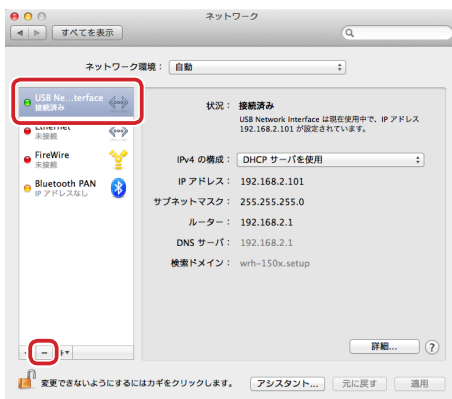
- ① 画面左上の「アップルメニュー」をクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

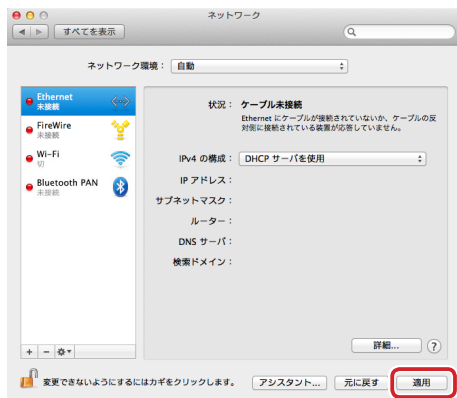


- ② 「ネットワーク」をクリックします。



- ③ 「USB Network Interface」を選択し、画面左下の「-（削除）」をクリックします。



4 [適用] をクリックします。

以上でドライバのアンインストールは終了です。

2 こんなときは



本製品に付属の「設定手順書②」の「こんなときには」もご参照ください。

無線 LAN 関係のトラブル

●無線 LAN がつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？

プロトコル（TCP/IP など）、クライアント（Microsoft Network クライアントなど）、サービス（Microsoft Network 共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどの DHCP サーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動で IP アドレスを割り当てる必要があります。

◆CATV インターネットなどでは、回線事業者から IP アドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング設定は正しいですか？

セキュリティ設定は、無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MAC アドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線 LAN に接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線 LAN がつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線 LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

● WPS がつながらない。

① WPS ランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力した PIN コードが誤っていることがあります。再度 PIN コードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

- ① TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。

〈ネットワーク〉画面で TCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。

- ② DHCP サーバ機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割りあててください。

TCP/IP のプロパティにある <IP アドレス> タブで設定します。

- ③ TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。

プロバイダによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定 IP アドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

- ④ プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。

IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

- ① ネットワーク設定をしましたか？

無線 LAN が正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

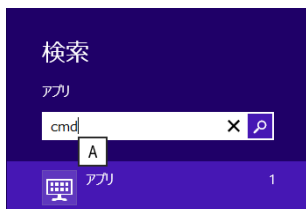
3 パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンの IP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機の IP アドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンの IP アドレスを表示する

Windows 8 の場合

- ❶ スタート 画面で、チャームを表示します。
- ❷ [検索] を選択します。
- ❸ アプリで「cmd」と入力し、検索します。



- ❹ 画面右の検索結果に「コマンドプロンプト」が表示されますので、クリックします。
- ❺ <コマンドプロンプト> 画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] を押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\%test>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。

「"xxx" は、内部コマンド・・・」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ⑥ 「イーサネット アダプター イーサネット※」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

イーサネット アダプター イーサネット :

```

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
IPv6 アドレス . . . . . : 2001:a001:88e7:0:b840:44f3:43d2:8763
一時 IPv6 アドレス . . . . . : 2001:a001:88e7:0:5daf:432d:efaf:79ed
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b840:44fe:43d2:8763%12
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.101
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::20b:a2ff:fe7b:ab9e%12
                                         192.168.2.1

```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ⑦ 本製品を工場出荷状態 (初期値) で使用している場合に、パソコンで表示される IP アドレスの内容については、[P91「工場出荷時での表示結果」](#)をお読みください。

Windows 7/Vista の場合

※画面は Windows Vista の例です。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト> 画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。

```

Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥master>ipconfig

```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。

「"xxx" は、内部コマンド …」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネットアダプタローカルエリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続 :

```

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1

```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示される IP アドレスの内容については、[P91「工場出荷時での表示結果」](#)をお読みください。

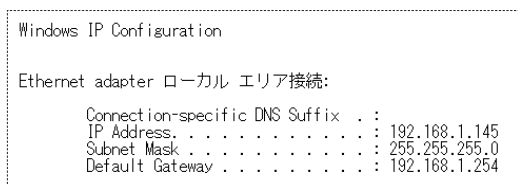
Windows XP の場合

- ① [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネットアダプタローカルエリア接続※」の「IP Address」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxx は任意の数字）。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示される IP アドレスの内容については、[P91「工場出荷時での表示結果」](#)をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常に IP アドレスが割り当てられていると、各パソコンの IP アドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字 (初期値:100 ～ 200 のいずれか) です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

4 主な仕様と工場出荷時の設定

●主な仕様

データ転送速度（有線）	10/100Mbps（自動判別）
ポート数（有線）	WAN ポート：1 ポート（WAN 側と接続） ※ Auto MDI/MDI-X に対応
消費電流	250mA（最大）
動作温度 / 動作湿度	0 ～ 40℃ / 90%以下（結露無きこと）
外形寸法	約幅 59.5 × 奥行き 23.4 × 高さ 14mm
質量	約 12.7g

※本製品はポート転送、DMZ、DDNS の機能は搭載しておりません。また、フレッツ光ネクストの NGN IPv4 サービス（サービス情報サイトやウイルスクリア等）には対応しておりません。

●設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログオン時の ユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin
-----------------------	----------------------------

●有線 LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）

LAN 側 IP アドレス	192.168.2.251（AP モード）
---------------	-----------------------

●無線 LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）

SSID	elecom2g-xxxxxx ※ 1
暗号化	WPA/WPA2 プレシェアード ※ 2
暗号キー	付属の「設定情報シート」に記載
暗号キーフォーマット	パスフレーズ

※ 1 X は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。

※ 2 無線アダプタ側の設定では、**WPA2-AES** を選択してください。

5 索引

数字

1st SSID	52, 74
2nd SSID	74
11b	2
11g	2
11n	2

A

Android	43
App Store	40
ASCII (5 文字)	59
ASCII (13 文字)	59

D

DHCP 接続方式	18
DHCP 範囲	65
DHCP リース時間	65
DNS1	71
DNS2	71
DNS3	71
DNS サーバの設定	68, 70

H

Hex	62
Hex (10 文字)	59
Hex (26 文字)	59

I

IEEE802.11n/11g/11b	16
IP アドレス	31, 65, 88

L

LAN ケーブル	22
LAN 設定	74
LAN 設定画面	64
LAN 端子	22

M

MAC アドレス	54
MAC アドレスコピー	68, 70, 71
MTU サイズ	68, 70, 71

P

PBC 方式で接続	37
PIN コード	36
Play ストア	43
PPPoE	69
PPPoE 接続方式	18

Q

QR link	12, 40, 43
---------------	------------

S

SSID	38, 57
SSID ステルス機能	52
SSID セパレータ	52

U

UPnP を有効にする	69, 70, 71
USB Network Interface	27
USB 型 AC アダプタ	22
USB ケーブル	22
USB ポート	22

W

WAN アクセスタイプ	68
WAN 経由での ping 実行を有効にする ...	69, 70, 71
WAN 設定	74
WAN 設定画面	68
WAN ポート	14, 22
WAN ランプ	14, 28
WEP	57, 58
WLAN ランプ	14, 28
WPA	62
WPA2	62
WPA2-Mixed	57, 62
WPA2-PSK	57
WPA-PSK	57
WPA-PSK/WPA2-PSK	61
WPA ユニキャスト暗号スイート	38, 57
WPS	86
WPS/Reset ボタン	14
WPS/Reset ランプ	14, 28
WPS 機能	56
WPS 設定	56
WPS の無効	56
WPS ボタン	34
WPS ランプ	34

あ行

アイドル時間	70
アクセスコントロール画面	54
アクセスコントロールリスト	54
アクセスポイントモード	17, 50
暗号化設定)	57
暗号キー	38, 57
暗号化方式	38, 57
インターネット接続のタイプ	29
インターネット設定	15, 49, 64

か行

キーフォーマット	59
基本設定	51
共有キーフォーマット	38, 57
拒否リスト	54
言語設定	15, 49
現在の暗号キー情報	56
工場出荷時の設定	92
固定 DHCP	65
固定 DHCP 設定画面	66
固定 DHCP の設定	66
固定 DHCP の有効	66
固定 DHCP リスト	66
固定 IP	71
固定 IP 方式	18
コメント	54
コンセント	22

さ行

サービス名	69
サブネットマスク	65
サポートサービス	11
システム	73
システム設定	15, 49, 73
自動再接続	70
手動切替え	70
手動設定	38
詳細設定画面	53
常時接続	70
ステータス画面	73
セキュリティ機能	57, 86
セキュリティ設定	57
接続許可	54
接続タイプ	70
設定情報シート	38, 41, 45, 57
設定を初期化	77
設定を復元	76
設定の復元方法	76
設定の保存	76

設定の保存方法	76
設定保存と復元画面	76
設定ユーティリティ	15, 31
設定ユーティリティ画面	48, 49
設定を初期化する	77
送信出力	53

た行

対応ブラウザ	13
チャンネル	52
チャンネル幅	52
デフォルトゲートウェイ	65
電源ジャック	14, 22
動作環境	13
動作モード選択	15, 49, 50

な行

認証画面	31, 48
認証方式	38, 57

は行

パスフレーズ	62
パスワード	69
パスワード設定画面	78
工場出荷時の状態	77
ファームウェア更新画面	75
ファームウェアの更新手順	75
プライバシーセパレータ	53
ブロードバンドモデム	16, 17
ホスト名	68
本製品の PIN コード	56

ま行

マルチ SSID	52
無線 LAN	6, 33, 85
無線アクセスコントロール機能	54
無線親機	2
無線子機	2, 55

無線設定	15, 49, 51
無線設定状況	74
無線端末の PIN コード入力	56
無線ルータ	2

や行

ユーザー名	69
有線 LAN アダプタ	12, 23
有線 LAN アダプタドライバの アンインストール	80

ら行

ルータモード	17, 50
--------	--------



ホテル用モバイル無線LANルータ
WRH-150xシリーズ
詳細説明書

発行 **エレコム株式会社** 2013年8月1日 第3版

©2013 ELECOM Co.,Ltd. All rights reserved.